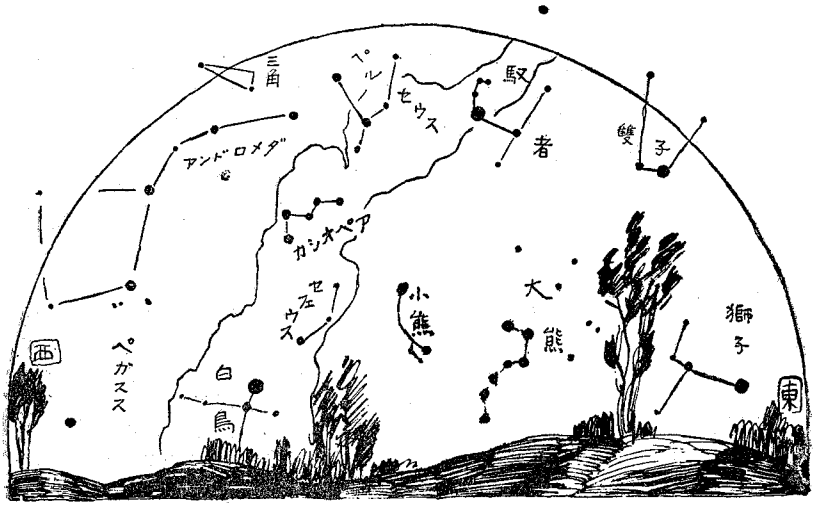


一月の星の空（北半）

恒星界

野も山も，雪の衣に包まれて，靜かに眠る夜半——

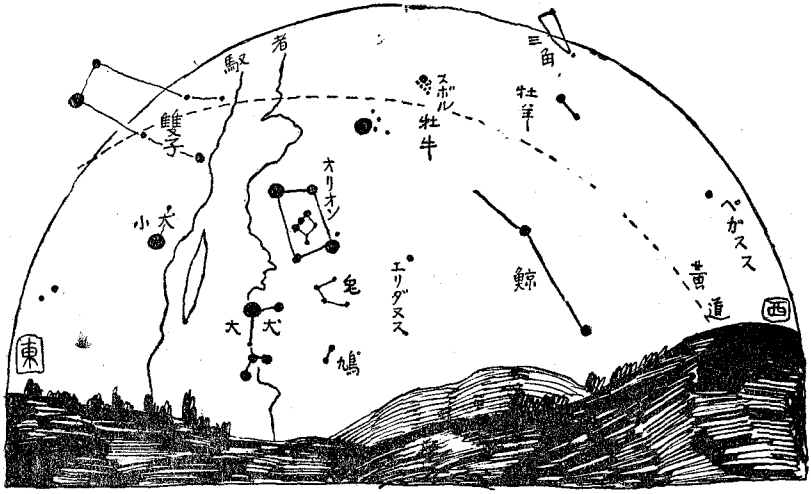
地上の銀世界と，瞬もせず此を見守る冬の星座とは共に一年に唯一度の美はしき對稱である．

入日の後，壯嚴な黃道光が銀河を凌ぐ純白光で暫らく西空を映へ輝かした後冴え渡つた大空に宇宙の活動が展開され始める．

燈臺星アルゴールが天頂に近く，規則正しい明滅を繰返して宇宙の旅の路しるべを務めると，怪星ミラが西の空で赤い大きな吐息をつく．南北に流れた銀河に沿ふ，大小幾多の赤い星白い星，青い星は宇宙の神祕を其の色に包み，プレアデスやアンドロメの星雲は宇宙の構造を物語らうとしてゐる．

此等の星の間で，無邪氣な木星と天王星との鬼ごつこは遂に23日夕刻木星の勝となり，星の林を縫ふて一足先を馳せて行く．

アルゴール星の極小期は3日23時，6日20時，9日17時，18日7時，21日4時，24日1時，26日22時，29日18時．



一月の星の空（南半）

太陽系

太陽は月中ばまで磨羯宮に居るが，21日から寶瓶宮に入る．4日地球は近日點を通過する，その時太陽の直徑は32分35秒角となる．

月は7日午前6時8分に滿月，14日午後9時14分に下弦，22日午後8時19分に新月．29日午後7時26分に上弦となる．又，3日夜半と29日正午に近地點を，15日夕刻遠地點を通過する．

水星は太陽に近く，9日此と外合をなす．

金星は曉の明星であるが，次第に太陽に近づく，16日午後5時土星と合(土星の北0,5度)，19日正午月と合．

火星は曉の東天にあるが未だ觀望の好期でない．

土星は曉の東天を進行してゐるが太陽に近い．19日月と合となる．

天王星は宵の星，春分點に甚だ近い．23日午後8時木星と合となり．それからは木星の後に從ふ．

海王星は獅子座ア星の近傍で，望遠鏡で之れを搜し當てるのに好都合である．10日午前8時月と合となる．